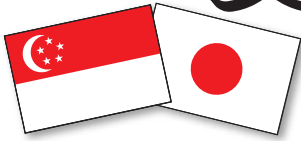




東京2020オリンピック・パラリンピック

美浜町×シンガポール ホストタウン事業



●問合せ 企画課 内線227

本町は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会においてシンガポール共和国のホストタウンとして認定されています。また、シンガポール国立パラリンピック連盟とホストタウンに関する覚書を締結しており、大会後も友好的な交流が継続することを目指した取組みを実施していきます。

ホストタウンってなに？

ホストタウンとは、東京2020大会開催に向け、地域の活性化や観光振興などを推進するため、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体を、国が登録する制度です。

本町は、小野浦出身の幕末の漂流民「音吉」と歴史的につながりが深く、愛知万博1市町村1国フレンドシップを契機としたこれまでの小中学生の相互交流などが認められ、「シンガポール共和国」のホストタウンとして2017年7月7日に登録されました。

愛知県内では、現在、名古屋市(フランス他)、豊橋市(ドイツ他)、岡崎市(中国他)、一宮市(米国)、半田市(中国)、刈谷市(カナダ)、豊田市(英国)、安城市(カナダ)、稲沢市(ギリシャ)、幸田町(ハイチ)と美浜町(シンガポール)の11市町がホストタウンとして登録されています。

令和2年度の取組みを一部ご紹介します！



▲美浜町パラリンピック教育



▲シンガポール物産展



▲ホストタウンポロシャツ一斉着用



▲シンガポール給食



▲シンガポール国立パラリンピック連盟と覚書締結



▲国際交流員による学校・保育所訪問